

- 東京都町村議会議員講演会（東京都） 金川 孝幸  
令和8年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 議会の災害対応とBCP

講師 跡見女子大学教授、内閣府被災者支援のあり方検討会座長  
鍵屋 一 氏

成果

議会のBCPとは災害などの緊急事態に対して、議会の機能を継続させる計画の事です。

島嶼部での災害では、地理的に孤立しやすく、高齢化で情報伝達・避難行動、避難生活に課題がある。産業直撃型の災害で農業や観光に影響し生活維持に直結している。また、行政の職員数は少なく応急対応は非常に厳しい。

これらの課題を解決するには、受援計画・東京都との連携が不可欠であると共に、訓練により実効性を高め続ける必要がある。

災害の発生は頻発する一方で社会の構造は変化し、自助のネックとなる高齢化や単身化に加え、共助に必要な近所のつながりや自治会などへの参加は減っている。更に公助も消防団員や自治体職員は不足し限界に近いのが実情である。「つながり」と「地域の絆」が大事。

災害に対応するには無理なくできる個別のひなん計画作成が効果的である。

議会BCPでは自治体で行う緊急対応に負担を掛けたり、邪魔をしないことが重要。昨年の台風災害の際に八丈町議会はBCPを作成して無かったにも関わらず、できる範囲での給水支援などに加え、被災後最初の議会で町の職員に負担を掛けないよう一般質問を控える対応など概ねできていました。今後の災害に備え基本的なルールを定める議会BCPの作成は必要と感じた。